



ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2017 実施要領

主催  広島県

協賛

 総合資格学院

 大旗連合建築設計株式会社
OH-HATA ARCHITECTS & PARTNERS

 株式会社テクシード
RE:FACTORY

目 次

1	趣旨	．．． P1
2	対象建築物	．．． P1
3	テーマ	．．． P1
4	審査基準及び方法	．．． P1
5	賞及び賞金等	．．． P2
6	日程	．．． P2
7	審査委員会	．．． P2
8	担当課	．．． P3
9	設計条件	．．． P3
10	参加者の資格	．．． P5
11	手続き等	．．． P5
12	1次審査	．．． P6
13	2次審査（最終審査）	．．． P6
14	現地調査	．．． P7
15	実施要領に関する質問の受付及び回答	．．． P7
16	最優秀作品の取扱い	．．． P7
17	その他の留意事項	．．． P7

1 趣旨

広島県は、魅力ある建築物が県内に持続的に創造されていく環境づくりに向け、クリエイティブな人材の育成に取り組んでいます。この設計コンペは、人材育成の一環として、建築学生を対象に、小規模な公共建築物の設計コンペを実施するものです。

また、本設計コンペにおいて選出された最優秀作品の提案者は、担当教授等の指導の下、広島県による実施設計及び工事監理を監修し、提案の実現に取り組んでいただきます。

2 対象建築物

三倉岳県立自然公園内のトイレ2棟（広島県大竹市栗谷町大字栗林地内）

※ 県立自然公園内にあるトイレ7棟を将来3棟に機能を集約させることとしており、今回はその3棟の内、対象建築物の2棟を建て替えることとします。

（三倉岳県立自然公園と対象建築物について）

三倉岳はロッククライミングのメッカと言われており、多くの登山者やクライマーが訪れます。

また、4月にはこの自然公園で山開きフェスティバルが開催され、アンデスの音楽祭や地域の特産品の販売等の多彩なイベントが開催されます。

7月・8月には、自然公園内にあるキャンプ場を利用する多くの家族連れやグループ等でのぎわい、多くの方に親しまれている場所となっています。

対象建築物のトイレ2棟は、三倉岳県立自然公園のキャンプ場内にあります。三倉岳への登山と野外活動等の促進を目的として整備されたキャンプ場地区内にあり、トイレの主な利用者は登山者やクライマー、キャンプ場利用者です。

現在、トイレは設置から30年以上が経過し、老朽化が進み、設備も古く、機能や快適さが十分に満たされていない等、利用上多くの課題があります。

このため、既存トイレを建て替え、誰もが安心して、心地よく使える環境を創出するとともに、自然公園の景観に馴染んだ魅力的なトイレとして再整備していくことを目指しています。

3 テーマ

「自然公園のトイレ」

大自然に囲まれ、三倉岳の存在をどこにいても感じるができる自然公園。この公園に建つトイレは、自然公園の環境を取り込んだ気持ち良いもので、かつ誰もが使いやすい開かれた場所となることが重要です。

トイレは、プライバシーが確保され、安心できる場所でなければならず、また、使い勝手、快適さ、機能性、耐久性は重要です。それに加えて、大自然と共存する建築であることが求められます。

自身の建築が現実に建つ、またとないチャンスです。創造的な建築を期待しています。

（審査委員長 西沢 立衛）

4 審査基準及び方法

（1）審査基準

本設計コンペの選考は、「3 テーマ」を中心に、「9 設計条件」に基づき、デザイン、使いやすさ、維持管理及びライフサイクルコストへの配慮などを勘案し、総合的な観点から審査を行います。

(2) 審査方法

審査は2段階選抜方式とします。

「7 審査委員会」が審査を行い、最優秀作品1点、優秀作品2点、入選作品2点、審査委員長特別賞作品数点を選定します。

ア 1次審査

1次審査は匿名非公開で提案作品を審査し、入選案を5点程度選定します。

詳細は、「12 1次審査」をご覧ください。

イ 2次審査（最終審査）

2次審査（最終審査）は公開審査とし、応募者本人によるヒアリングにより、提案の内容と実現性を審査し、最優秀作品1点、優秀作品2点、入選作品2点、審査委員長特別賞作品数点を決定します。

詳細は、「13 2次審査（最終審査）」をご覧ください。

5 賞及び賞金等

最優秀受賞者等には賞金等を授与する予定です。

賞	賞金等
最優秀作品賞 1点	賞金 30万円 賞状, トロフィー
優秀作品賞 2点	賞金 10万円 賞状, トロフィー
入選作品賞 2点	賞金 5万円 賞状
審査委員長特別賞作品賞 数点	賞状

※賞金は協賛企業から授与されます。

6 日程

区分	日程
実施要領配布開始	平成29年7月15日(土)
応募登録申込受付期間	平成29年7月15日(土)～平成29年8月25日(金)
質疑受付期限	平成29年8月25日(金)
提案作品受付期間	平成29年8月28日(月)～平成29年9月22日(金)
1次審査結果発表	平成29年10月上旬
最終審査(公開審査)及び審査結果発表	平成29年10月28日(土)13時～17時(予定)

7 審査委員会

本設計コンペの審査は、次のひろしま建築学生チャレンジコンペ2017審査委員会が行います。

区分	氏名	所属等
審査委員長	西沢 立衛	建築家, 横浜国立大学大学院 建築都市スクール Y-GSA 教授
審査委員	今川 忠男	今川建築設計
	石川 誠	石川誠建築設計事務所
	梅村 幸平	広島県環境県民局環境部長
	宮崎 昌二	広島県土木建築局建築技術部長

8 担当課

〒730-8511 広島市中区基町 10 番 52 号

広島県土木建築局営繕課（営繕企画グループ）

電話：082-513-2311 ファクシミリ：082-224-6411 電子メール：doeizen@pref.hiroshima.lg.jp

本設計コンペに関するの問い合わせは担当課に行うこととし、施設管理者へ直接問い合わせることは厳に禁止します。

本実施要領及び様式のダウンロード先 URL：

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/miryoku/challe-com2017.html>

（広島県土木建築局営繕課 魅力ある建築物創造事業サイト内「ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2017」のホームページ。以下「県HP」という。）

9 設計条件

(1) コンセプト

「自然公園のトイレ」

※ その他建築物の計画に関する配慮について

一般的に建築物に求められる次の各項目については、明らかに配慮に欠けるものは選考に影響することとしますので留意してください。

ア ライフサイクルコストへの配慮

コストと耐久性の両面から工夫し、工事費や維持管理費等のライフサイクルコストの低減に配慮すること。

なお、必ず工事費以下とすること。

イ ユニバーサルデザインへの配慮

誰もが使いやすく、快適に利用できること。

ウ 効率的な維持管理への配慮

清潔に保ちやすく、清掃・補修等が容易なこと。

(2) 敷地条件

ア 所在地：広島県大竹市栗谷町大字栗林地内

イ 敷地① 面積：約 150 m²（トイレ位置は計画敷地図参照）

敷地② 面積：約 260 m²（トイレ位置は計画敷地図参照）

ウ 都市計画区域：都市計画区域外

エ その他の区域：自然公園内（広島県立自然公園条例適用区域内）

オ 公共上下水道設備：下水道設備無し（既存浄化槽に接続）

(3) 設計と条件

ア 建物概要

		トイレ1（敷地①）	トイレ2（敷地②）
新設	構造	指定なし	指定なし
	延床面積	30 m ² 程度	50 m ² 程度
	階数	平屋	平屋
既存	構造	コンクリートブロック造	鉄筋コンクリート造
	延床面積	18.6 m ²	33.0 m ²
	階数	平屋	平屋

イ 工事費：5,200 万円以下（税込み）

※ 上記工事費内で、実現可能な提案とすること。なお、工事費には建築工事費・電気設備工事費・機械設備工事費が含まれます。（既存トイレの解体撤去工事費を含みません。）

※ 工事費の積算は、公共建築工事積算基準を参考としてください。なお、工事費には、直接工事費の他、共通仮設費や現場管理費などの共通費が含まれます。

ウ 所要室

区 分		器具数	
トイレ 1（敷地①）	男性用	洋式大便器	1 器
		小便器	3 器
		洗面台	2 器
	女性用	洋式大便器	2 器
		洗面台	2 器
	多目的	洋式大便器, 洗面台等	1 器
トイレ 2（敷地②）	男性用	洋式大便器	4 器
		小便器	3 器
		洗面台	2 器
	女性用	洋式大便器	4 器
		洗面台	2 器

エ 留意事項

- ・ 敷地の造成等，形状変更は行いません。現状の敷地を活かした提案としてください。
- ・ 落ち葉等が屋根にたまらないよう，屋根に傾斜をつける等の措置を行ってください。
- ・ トイレ 1， 2 共に建替えます。
- ・ トイレ 1， 2 共に敷地内の既存の植栽等を撤去し，計画することは可能です。
- ・ 維持管理費が過大とならない施設となるよう計画してください。
- ・ 排水処理方法は水洗方式とし，既存の浄化槽（合併浄化槽 495 人槽 H3 設置）に接続します。
- ・ 照明器具や水道は自動センサー方式とします。
- ・ 水道管等には，凍結防止対策を施してください。
- ・ 雨樋が不要なデザイン（雨だれ）とし，雨水の落水対策を行ってください。
- ・ 多目的トイレはユニバーサルデザインとしてください。（オストメイト，ベビーチェア等）
- ・ 建築基準法や広島県立自然公園条例等の関係法令に留意して計画してください。
- ・ トイレ側面へ手洗いと足洗いができる簡易的な設備を計画してください。

(4) ローコストへの配慮について

「(3) イ」に記載の予定工事費内で，実現可能な提案としてください。

実施コンペのため，公共施設の積算基準の内容等について指導教員から指示を仰ぐなど，ローコストへの配慮をお願いします。

近年，公共事業の予算の縮減が進み，事業に対する費用対効果について強く求められており，このような状況の中，今回のトイレは厳しい工事予算となっています。

そうした中，「自然公園のトイレ」をローコストで設計するという課題も，今回の大きなテーマのひとつとなります。コストと建物の魅力をどうやって両立させるか，ハードのみならずソフト面からも様々な工夫やアイデアを提案してください。

(5) その他の条件

検討にあたっては、上記(1)～(4)に留意してください。

なお、本設計コンペにおいて選定された最優秀作品は実際に事業化されるため、優れた提案であることと同時に特にコスト、構造、施工性について、実現可能性を有していることが求められます。

10 参加者の資格

国内の大学、大学院、短期大学、高等専門学校(本科4年・5年、専攻科)、専修学校(専門課程)、各種学校の建築関連学科に在籍する学生であること。

上記の学生により構成されたグループによる応募も可とします。なお、同一の学校の学生によるグループに加え、複数の学校の学生により構成されたグループも可とします。

※ 平成29年7月15日現在、在籍中であること。

※ 建築関連学科とは、建築学科、インテリアデザイン学科など、建築設計に関する授業を行っている学科をさします。

11 手続き等

(1) 応募登録

本設計コンペに参加しようとする者は、次の県HP応募登録フォームにより応募登録してください。

応募登録フォームURL：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/ques/questionnaire.php?openid=448>

事務局は、応募登録の受け付け後、参加資格を確認した上で、登録番号を交付し書面及び電子メールにより応募登録者に通知します。

事務局から登録番号の交付を受けた応募登録者に限り、提案作品の提出を行うことができます。

ア 受付期間

平成29年7月15日(土)から平成29年8月25日(金)まで

イ 担当教授等の承諾

最優秀作品に選定された提案者は、担当教授等の指導の下、実施設計及び工事監理を監修していただきます。応募登録にあたっては、あらかじめ、担当教授等に承諾を得た上で、その旨を記載し応募してください。

(担当教授等とは、提案者の所属学校に勤務する担当教員や教授等とし、非常勤講師等は除きます。)

(2) 提案作品の提出

提案作品の提出は、次のとおり行ってください。

なお、応募者1者(又は1グループ)は1つの提案作品を提出することができます。

ア 受付期間

平成29年8月28日(月)から平成29年9月22日(金)まで(必着)

イ 提案図書

次の図書を、原本1部及び電子データ(CD等)で提出してください。審査や最終審査の講評の公表等で使用します。(電子データの形式は、(ア)JPEG (イ)PDFの両方を提出してください。)

なお、提案図書は返却しませんので、必要に応じて事前に複製しておいてください。

(ア)「3 テーマ」「9 設計条件」に照らし合わせて配慮した設計趣旨、配置図(平面図兼用可)、平面図、立面図、断面図(縮尺自由)、外観スケッチなど設計意図のわかる提案書(A1用紙、片面横使い、1枚)

提案書には、用紙右上の角(縦2cm×横5cmの範囲内)に、参加表明書受付後に交付した登録番号を記入してください。

※ 審査の過程で応募者の匿名性を確保する必要があることから、提案書には応募者が特定できる事項等を記入することはできません。

(イ) 作品提出届(様式1)

ウ 提出場所及び方法

担当課へ持参又は郵送してください。提出に要する費用の負担は提出者の負担となります。

持参される場合は、受付期間のうち、休日を除く毎日9時から17時までとします。

郵送の場合は、9月22日(金)必着とします。

1.2 1次審査

(1) 審査の方法

1次審査は匿名非公開で提案作品を審査し、入選案を5点程度選定します。

(2) 審査の基準

「4(1) 審査基準」のとおりです。

(3) 1次審査結果の発表方法

1次審査結果は、平成29年10月上旬に県HPで発表します。また、1次審査通過者には直接通知し、2次審査の案内を併せて行います。

1.3 2次審査(最終審査)

(1) 審査の方法

2次審査(最終審査)は公開審査とし、ヒアリング(応募者本人によるプレゼンテーションと審査委員会による質疑応答)により、提案の内容と実現性を審査し、最優秀作品1点、優秀作品2点、入選作品2点を決定します。

(2) 審査日及び会場

審査日 平成29年10月28日(土) 午後1時～午後5時まで

会場 広島県立美術館地下講堂(予定)(広島市中区上幟町2-22)

(3) 審査の基準

「4(1) 審査基準」のとおりです。

(4) ヒアリングの実施

ヒアリングは、応募者本人によるプレゼンテーションと審査委員会による質疑応答により行います。

プレゼンテーションの方法は、発表時間15分以内で、提案図書による説明のほか、模型等を作成し、これを用いた効果的な説明を行ってください。また、PC利用のプレゼンテーションソフトによるプロジェクターを使用した説明も可能です。詳細は1次審査の選考通過者に通知します。

2次審査に欠席した場合は、棄権として取り扱い、審査の対象から除外します。

(5) 2次審査（最終審査）結果の発表方法

2次審査の選考結果は、当日会場にて発表し、併せて表彰を行います。また、後日、選考経緯及び講評とともに県HP上で公表します。

14 現地調査

現地調査日は設けませんが、現地を見学することは常時可能です。ただし、一般の公園利用者の迷惑とならない範囲で見学してください。

なお、施設管理者へ直接問い合わせることは厳に禁止します。また、自家用車等を駐車される場合は、トイレ1（敷地①）に隣接する駐車場に必ず駐車してください。その他の駐車場には原則駐車しないでください。

15 実施要領に関する質問の受付及び回答

(1) 質問の受付

質問は、次の県HPの質問フォームにより質問をしてください。

質問フォームURL：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/ques/questionnaire.php?openid=449>

(2) 質問の受付期間

平成29年8月25日（金）まで

(3) 質問に対する回答

質問に対する回答は、順次、県HP上に掲載します。

なお、最終回答は、平成29年8月31日（木）までに県HP上に掲載します。

回答は、実施要領の追加又は修正とみなします。

16 最優秀作品の取扱い

県は、最優秀作品を基に、実施設計を行います。なお、実施設計は、県が別途業者選定を行い、実施設計業務を委託します。最優秀作品を提案した者は、担当教授等の指導の下、実施設計及び工事監理の監修をしていただきます。監修方法はメール等による協議を基本としますが、別途必要に応じて協議します。

最優秀作品の提案者は、提案図書について基本設計書に編集し直して、広島県（実施設計受託者）に提出をお願いすることとなりますのでご了解ください。

17 その他の留意事項

(1) 応募登録後、選考結果の公表の日までの間に、応募登録者が次の各号のいずれかに該当したときは応募登録を取り消します。

ア 提案作品提出期限に遅れた者又は提案図書に不備がある者

イ 応募登録内容及び提案図書に虚偽の記載をした者

ウ その他、審査委員会が不適格と判断した者

(2) 本設計コンペに係る登録料は無料ですが、応募登録、質疑及び提案図書の提出、2次審査等に関する費用は応募者の負担とします。

(3) この要項に定める手続きを郵送若しくは電子メールにより行う場合は、必ず担当課への到達を確認してください。

提案図書を持参する場合は、期間内の月曜日から金曜日（休日を除く）の午前9時から正午まで

と、午後1時から午後5時まで受付けます。

(4) 提出物等は一切返却できません。

(5) 提出された提案図書の著作権は、その提出者に帰属することとします。なお、最優秀作品の使用権は本県が無償で譲り受けます。

(6) 提出された参加表明書は、提案図書の提出者の選定以外に提出者に無断で使用しません。

なお、選定に必要な範囲において複製を作成することがあります。

(7) 提案図書及び審査過程は、県HP等に掲載し公表する予定です。

(8) 他者の著作権に抵触する画像、文書などの使用は認めません。また、雑誌、書籍、ホームページ等からの無断借用も認めません。

入選後に著作権侵害などの疑義が発覚した場合、これを取り消します。また、提出作品について著作権侵害等が発覚した場合、全ての責任は応募者が負うものとなります。その他第1候補者としてふさわしくないことが発覚した場合、県は、審査委員会と協議の上、第2候補者の案を採用することがあります。

(9) 本設計コンペの応募登録や応募に際して記入いただいた氏名・住所・所属等の個人情報は、統計的な応募集計に利用することとしており、当関係者以外の第三者に個人情報を開示・提供しません。

ただし、入賞者に関しては、入賞作品とともに、氏名・所属等を県HPやマスコミリリース等で広く公表することとしておりますので、ご了承ください。

(10) 施設管理者へ電話等により直接問い合わせることは厳に禁止します。

(11) 実際に建築する際には、最優秀作品の提案趣旨を十分に尊重して実施設計・工事監理を行いますが、法規上及び予算上等の理由により、協議の上、提案内容を一部変更する場合がありますのでご了承ください。

(12) 今後の社会情勢や財政事情の変化、その他不可抗力等により、事業計画の変更又は中止をする場合があります。この場合、参加者に対して県は一切の責任を負わないものとします。

(13) この要領に定めることのほか、本設計コンペを行うために必要な事項が生じた場合は、本県が委員会と協議の上、これを定め、応募者に通知します。

(14) 最終審査会場等で協賛企業によるアンケートやチラシの配布等が行われる予定です。

ひろしま建築学生チャレンジコンペ2017 作品提出届

広島県知事 様

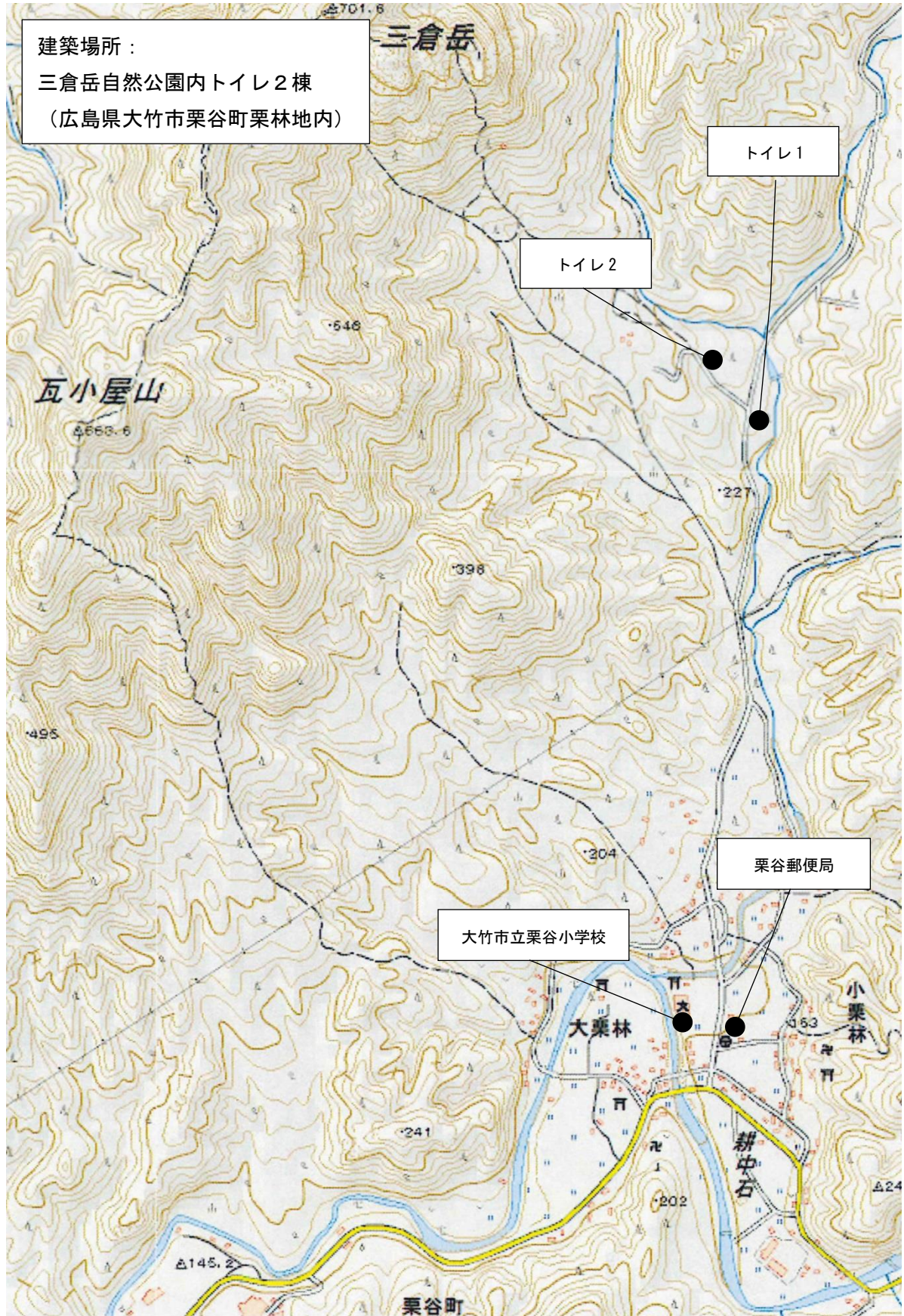
「ひろしま建築学生チャレンジコンペ2017 実施要領」に基づき、提案作品を提出します。

平成29年 月 日

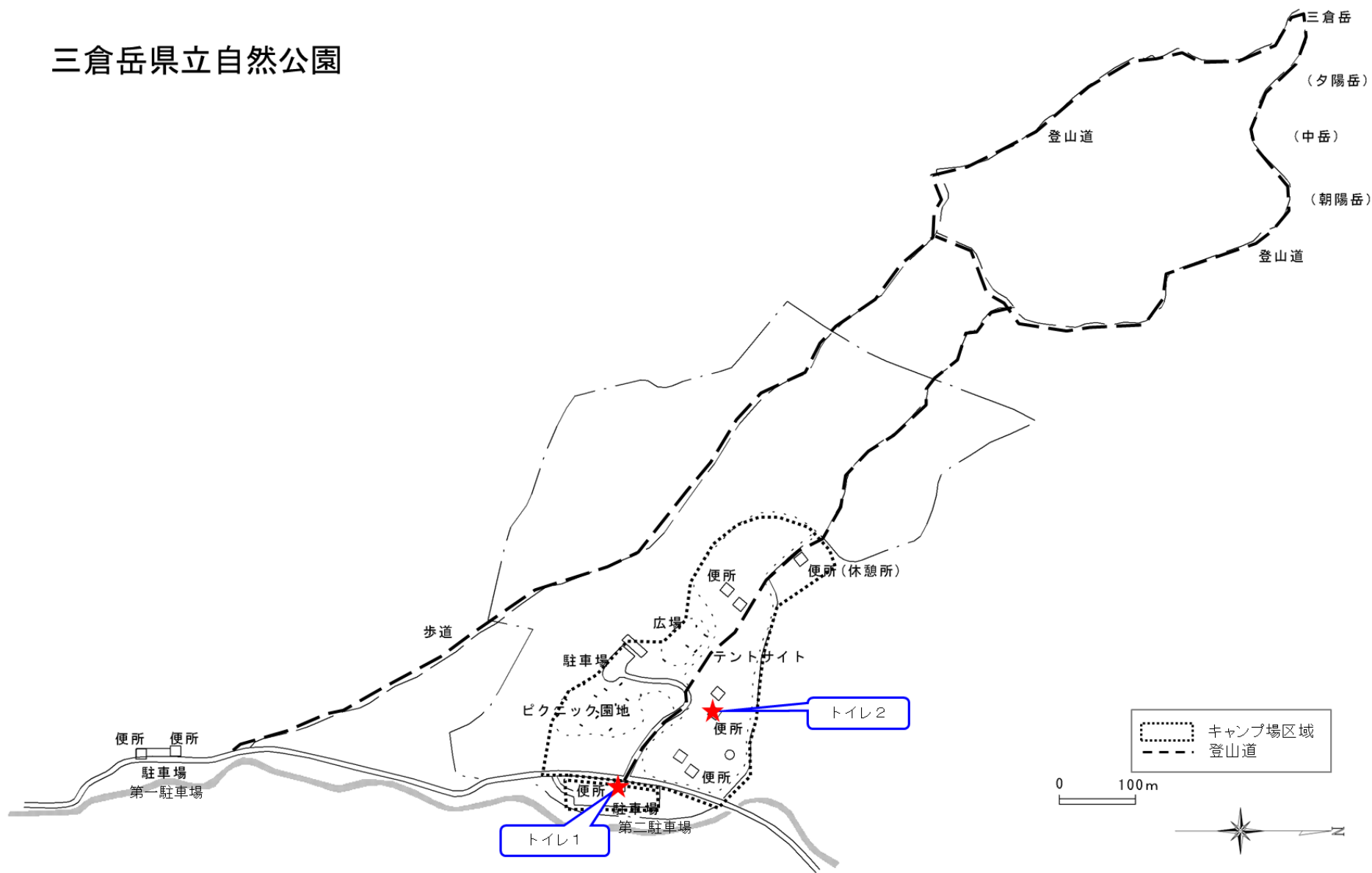
応募者番号	
-------	--

計画地周辺図①

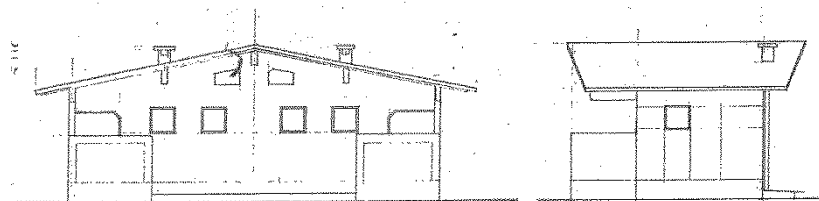
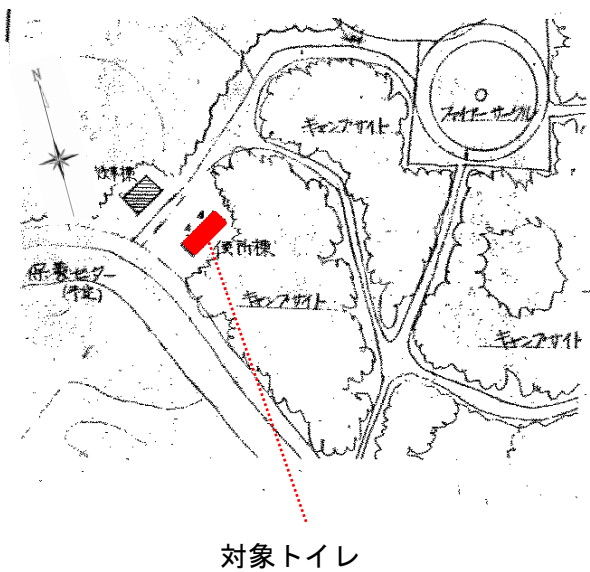
地理院地図
GSI Maps



三倉岳県立自然公園

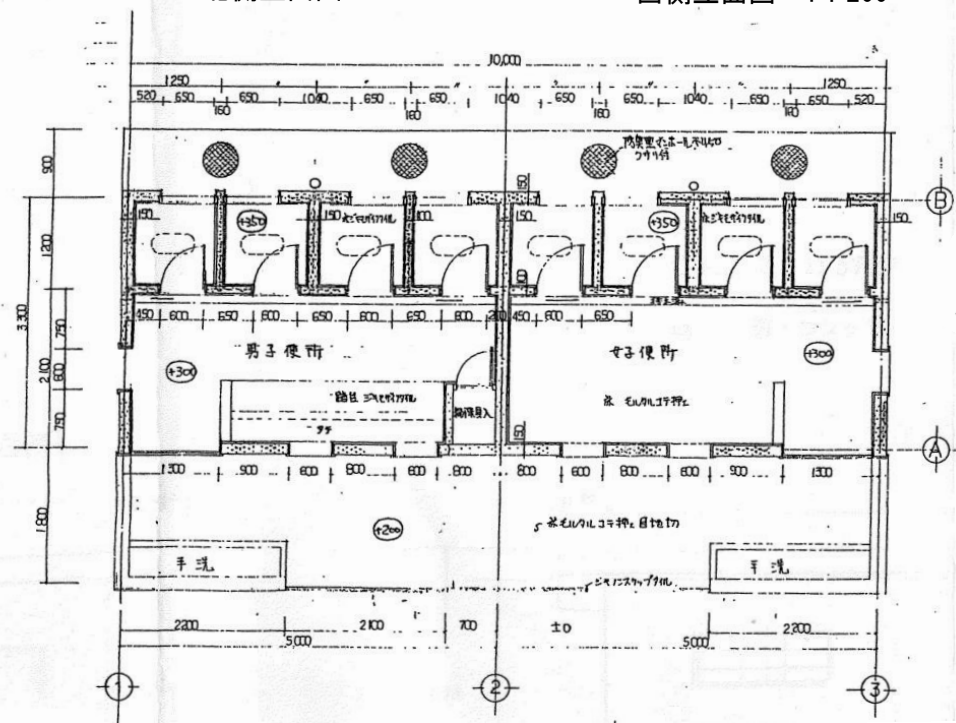


既存敷地図 (トイレ 2)



北側立面図 1 : 200

西側立面図 1 : 200



平面図 1 : 100

計画敷地図（トイレ1）縮尺 1：250



計画敷地図 (トイレ2) 縮尺 1 : 250

